

北
河
地

高橋ミナさん、 100歳おめでとうムンバグいます

3月11日(土)、長面の高橋ミナさんが100歳を迎えられ、お祝いに駆けつけた親戚の見守る中、市から祝詞と祝金50万円が手渡され、100歳を祝いました。

高橋さんは、明治39年長面で生まれ、孫17人とひ孫15人がいます。家族は長男夫婦と孫の4人暮らしです。長生きの秘けつは、何でも食べ、楽しく話すことだそうです。これからも長生きしてくださいね。



▲みんなからのお祝いの言葉に喜ぶ高橋さん。赤いチャンchanコが良く似合っていますね

タスキをつないで駆け抜けよう！

4月2日(日)、追波川河川運動公園陸上競技場で、第10回かほくフリーラン駅伝大会が開催されました。



この大会は、ハーフラソン走行距離の21・0975kmを、1チーム5人、25人が駅伝方式で走るという競技で、市内外から8チームが参加しました。当日は小雨の降る悪天候でしたが、参加者は、チームの作戦で決められた距離をタスキをつなぎながら完走しました。



勝
雄
地

「地域一体、交通安全」

4月6日(木)から15日(土)までの10日間、全国一斉に春の交通安全運動が実施されました。雄勝地域でも交通安全教室や毎朝街頭に立つて交通安全を呼びかけるなど、各地区の皆さんや交通安全協会、交通安全指導隊、交通安全母の会など地域全体が一体となり、交通事故の撲滅を誓い合いました。

交通安全運動期間中の11日(火)には、朝7時30分から関係者が上雄勝交差点など、それぞれ各地域の街頭に立ち、出勤途中のドライバーや通学する児童・生徒たちに、黄色い羽根やポケットティッシュを手渡し、交通安全の啓発を図りました。黄色い羽根を受け取った皆さんは、



交通安全の大切さを再確認していました。

また、14日(金)には、恒例の雄勝小学校交通安全少年団による「交通安全パレード」が行われ、小学校から総合支所までの区間を行進し、息のあつた見事な演奏で交通安全思想の向上に努めました。



このコーナーでは、催し物やまちのできごと、地域の情報などを紹介します。

南地区

創作和太鼓の饗演

3月19日(日)、遊楽館で「こもれびの降る丘 創作和太鼓の饗演」が行われました。

この催しは、遊楽館の開館1周年を記念したもので、市とその周辺市町から5団体が出演しました。



躍動感あふれるばちさばきと迫力ある太鼓の響きは、かなんホールを埋め尽くした大勢の観客の魂を揺さ振り、感動の世界へと引き込んでいきました。

桃生地区

桃生総合支所庁舎・桃生公民館の完成祝う

桃生公民館の完成祝う



披露され、躍動的な舞で新庁舎の落成に彩を添えました。

桃生総合支所庁舎・桃生公民館は、鉄骨2階建て、延べ床面積約3,900平方メートルの建物で、一階には事務室や文化ホール、図書館などが、2階には会議室や視聴覚室、和室などが設けられています。免震工法を採用し、駐車場の地下には防災調整池を備えています。建設工事は、平成17年3月から進められ、総事業費は約15億円です。

なお、昭和33年に建設された旧桃生総合支所庁舎(旧桃生町役場)は、旧桃生公民館とともに、今年度中に解体される予定になっています。

地域の防災活動・地域活動の拠点施設として建設が進められてきた桃生総合支所庁舎・桃生公民館の落成式が3月25日(土)、来賓や招待者など約300人を招いて、桃生公民館文化ホールで行われました。式では、市長が「生涯学習、地域活動の拠点として、市民に親しまれるように努めます」と式辞を述べた後、平塚義兼元桃生町長や、旧桃生町で友好を深めてきたチニア共和国のカイス・タラジ参事官などから祝辞をいただきました。

その後、アトラクションとして、市の無形民俗文化財である「はねこ踊り」が

交通安全運動実施!



児童・生徒に黄色い羽を配布し、地域ぐるみで交通安全を呼びかけました。